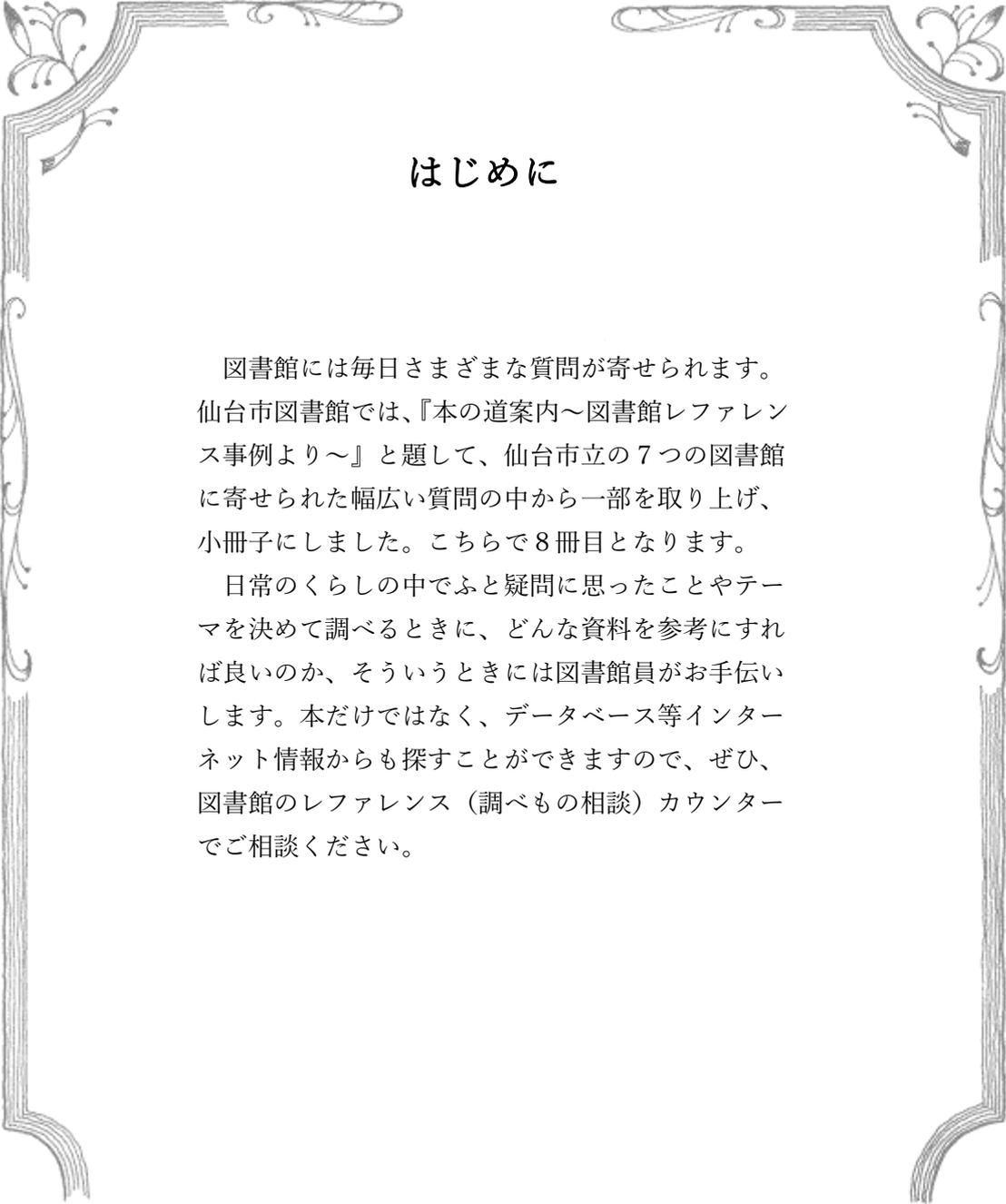


仙台市図書館 2024 Vol.8

# 本の道案内

図書館レファレンス事例より

A decorative border with floral and scrollwork motifs surrounds the text. The border is composed of multiple parallel lines, with ornate floral designs at the corners and along the sides.

## はじめに

図書館には毎日さまざまな質問が寄せられます。仙台市図書館では、『本の道案内～図書館レファレンス事例より～』と題して、仙台市立の7つの図書館に寄せられた幅広い質問の中から一部を取り上げ、小冊子にしました。こちらで8冊目となります。

日常のくらしの中でふと疑問に思ったことやテーマを決めて調べるときに、どんな資料を参考にすれば良いのか、そういうときには図書館員がお手伝いします。本だけではなく、データベース等インターネット情報からも探すことができますので、ぜひ、図書館のレファレンス（調べもの相談）カウンターでご相談ください。

## 目 次

ハワイの石を持ち帰るとよくないことが起きるのか？ .....	1
今川焼きとたいやきが違うのは、形だけなのか？ .....	2
「 <sup>たいらただのり</sup> 平忠度」の短歌「 <sup>ゆ</sup> 行きれて木 <sup>こ</sup> の下 <sup>したかげ</sup> 陰を宿とせば花や今 <sup>こよい</sup> 宵 <sup>あるじ</sup> の主ならまし」 が掲載されている資料を探している。 .....	3
三毛猫はなぜほとんどがメスなのか。 .....	4
飢饉の時に食した「松皮餅」の作り方を知りたい。 .....	5
還暦や米寿の由来を知りたい。 .....	6
イギリスの階級、爵位について知りたい。 .....	7
身内の不幸があった翌年の正月を祝わないのはいつからの風習なのか。 .....	8
歌川広重に弟子入りし、「 <sup>はくう</sup> 白雨」という絵を描いた人物について知りたい。 ....	9
「ひ、ふ、み、よ…と（十）」の続きを知りたい。 .....	10
書籍の小口に見出し用として着色している部分の名称を知りたい .....	11
雪が降った日が静かだといわれる理由を知りたい。 .....	12
カワウソはどこに住んでいるか。 .....	13
「オプトニカ」という花について知りたい。 .....	14

## 郷土に関する質問

- アルバート・アインシュタインが松島でお月見をした場所を知りたい。 ..... 15
- 広瀬川の大橋のところにあるキリシタン殉教の像について知りたい。 ..... 16
- 「仙台」の地名の由来と言われる韓翊<sup>かんこう</sup>の漢詩が載っている本を探している。 17
- 蕃山の伝説について知りたい。 ..... 18
- 宮城県の市制が施行された順番を知りたい。 ..... 19
- 陸奥国分寺の造営地はどのように選ばれたのか。 ..... 20
- 泉ヶ岳の雨乞いと水神碑について知りたい。 ..... 21
- 道路神社について知りたい ..... 22
- 江戸期に実在したという仙台の出版人、宮城屋新左衛門について知りたい。  
また、出版物名も知りたい。 ..... 23
- 『仙臺萩 古地誌』の中の「寫本仙臺城」を見たい。 ..... 24
- 高校野球の試合前挨拶はいつから行われたのか。 ..... 25
- 仙台出身の黒川玉<sup>くろかわたま</sup>について、出自など詳しく知りたい。 ..... 26
- 仙台の川内近くにある残飯沼の名前の由来と場所を知りたい。 ..... 27
- 仙台出身で泉鏡花の弟子であった歯科医寺木定芳について知りたい。 ..... 28
- 焼き芋屋の売り声は、東北と関東で違いはあるか。 ..... 29
- 仙台藩が取り組んでいた薬草栽培について知りたい。 ..... 30
- 「徳川実紀」に記された朝倉山椒について知りたい。 ..... 31

# ハワイの石を持って帰っていいのか。持ち帰るとよくないことが起きるのか？

## 答

『ハワイ・ブック』 p39 に「ハワイの火山の石は持ち帰ってはいけない。それは国立公園の規則でもある。なによりも、火の女神ペレの恐ろしい怒りをかうといわれているからである」とあり、下記の参考資料・参考サイトにも同様の記述があった。

## 回答プロセス

ハワイに関する本を探すため、ハワイの歴史 (276)、ハワイの旅行ガイドブック (297)、各国事情 (302.7) の書架に当たった。インターネットでもハワイや石、神話、伝説などをキーワードに検索をした。

## 参考資料

『ハワイ・ブック』 近藤 純夫／著 平凡社 2001年  
『ディーブでふしぎなハワイのおはなし』  
タマラ・ピイラニ・エルドリッジ／文 ゴマブックス 2006年

## 参考サイト

『ハワイ島ガイド』  
[https://www.allhawaii.jp/docs/ebook/Island\\_of\\_Hawaii\\_Travel\\_Guide/](https://www.allhawaii.jp/docs/ebook/Island_of_Hawaii_Travel_Guide/)  
(2023年11月16日アクセス)

【それ違法です！】ハワイの砂・石・サンゴの持ち帰りに注意  
[https://www.lanilanihawaii.com/column/crazy-about-hawaii\\_bynavicio/coral-and-sand.html](https://www.lanilanihawaii.com/column/crazy-about-hawaii_bynavicio/coral-and-sand.html)  
(2023年11月16日アクセス)

## 今川焼きとたいやきが違うのは、形だけなのか？

### 答

「タイの姿に焼いた今川焼きの一種」であり、違いは形だけであると考えられる。

### 回答プロセス

「今川焼き」を調べると、『事典和菓子の世界』では「小麦粉に卵、砂糖などを混ぜた生地を型に流し、餡を入れて焼いた菓子」とあった。『たべもの起源事典』には「江戸の庶民的な焼き菓子。巴焼き、義士焼き、二重焼き、文化焼き、回転焼き、大判焼き、太鼓焼き、ハイカラ焼きともいう。」とあり、様々な名称で呼ばれていることが分かった。

次に「たいやき（鯛焼き）」を調べると、『事典和菓子の世界』では「小麦粉生地で作る、鯛形の餡入り焼菓子」とあり、『たべもの起源事典』には「タイの姿に焼いた今川焼きの一種」とあった。

たいやきができた経緯について『たべもの起源事典』では、「1909年（明治42）に創業した、東京麻布十番の浪花屋総本家の初代が創作したもの。大阪から東京に出てきた神戸清次は、今川焼きを始めたが一向に売れず、亀の形の亀焼きも失敗する。ところが、めでたいのタイの姿にしたところ、芝の金助町（金杉）辺りでリヤカーを引いて飛ぶように売れた」との記載もあることから、今川焼きとたいやきの違いは形だけと考えられる。

### 参考資料

- 『事典和菓子の世界 増補改訂版』 中村 圭子／著 岩波書店 2018年
- 『たべもの起源事典』 岡田 哲／編 東京堂出版 2003年
- 『たい焼の魚拓』 宮嶋 康彦／著 JTB 2002年
- 『あんこ読本』 和菓子好き委員会あんこ部／著 PHP 研究所 2014年

### 参考サイト

レファレンス協同データベース

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000189942](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000189942)

(2023年11月4日アクセス)

漢詩「桜花詞」に出てくる「平忠度」の短歌で、「行きくれて木  
の下陰を宿とせば花や今宵の主ならまし」が掲載されている資  
料はあるか。

答

『日本文学全集 09 平家物語』p594 - p597「忠度最期——その箧に歌一首」の項と、『謹訳世阿弥能楽集 上』p139 - p146「忠度」の項に該当の短歌が掲載されている。

また、『いにしへの言葉に学ぶきみを変える古典の名言 [2]』p76 - p79「平家物語 忠度都落ち」の項、『新日本古典文学大系 10 千載和歌集』p30「さゞ浪や志賀のみやこはあれにしをむかしながらの山ざくらかな」の注釈に平忠度に関する記述がある。

### 回答プロセス

蔵書検索システムで「平忠度」、「忠度」をキーワードに検索したところ、『新日本古典文学大系 57 謡曲百番』がヒットした。内容を確認すると、p263「忠度」に「平家物語七・忠度都落、九・忠度最期、源平盛衰記三十三、三十七に抛りつつ」と記載があったため、平家物語が載っている資料を検索した。『日本文学全集 09 平家物語』を確認したところ、p594「忠度最期」の章に忠度の短歌が掲載されていた。

また、能の演目に「忠度」があることが分かったので、能楽の資料をあたったところ、『謹訳世阿弥能楽集 上』p139 - p146「忠度」に該当の句を発見。『謡曲集 中』p293 - p306「忠度」にも同様の記載がある。

### 参考資料

- 『日本文学全集 09 平家物語』 池澤 夏樹／個人編集 河出書房新社 2016年  
『謹訳世阿弥能楽集 上』 世阿弥／[著] 林 望／[訳] 著 檜書店 2020年  
『いにしへの言葉に学ぶきみを変える古典の名言 [2]』  
福井 蓮／文 汐文社 2021年  
『新日本古典文学大系 10 千載和歌集』  
佐竹 昭広／[ほか] 編集委員 岩波書店 1993年  
『新日本古典文学大系 57 謡曲百番』  
佐竹 昭広／[ほか] 編集委員 岩波書店 1998年  
『謡曲集 中』 伊藤 正義／校注 新潮社 2015年

## 三毛猫はなぜほとんどがメスなのか。

### 答

ネコの毛色は、そのネコがもっている遺伝子で決まる。遺伝子は細胞の核の中に含まれる染色体上に並んでいて、ネコは約2万の遺伝子をもつ。三毛猫になるためには、茶色の毛の情報と黒の毛の情報の2つが必要で、この情報は性染色体の遺伝子に起因する。性染色体は性決定にかかわる染色体で、雄がXY、雌がXXの性染色体をもっている。

茶色の毛と黒の毛の情報をもつ遺伝子は性染色体のうちX染色体上にある。これらは対立遺伝子のため染色体の片方に同時にのることはない。そのため雌の場合は性染色体Xが2つあるので、茶色と黒の毛を両方もつ可能性がある。一方で雄はX性染色体が1つしかないため、2つの毛色の情報をあわせもつことはできない。

三毛猫のもう一つの毛色である白の情報は、常染色体の上にあるため、雄雌によるかたよりはない。雌は茶色と黒、さらに白の毛の情報をもつことで三毛になる。このため、三毛のほとんどが雌である。

稀に雄の三毛猫が生まれることがあるが、これは精子や卵子を作る減数分裂を行う際に、性染色体のコピーや分配がうまくいかず、本来XYという性染色体がXXYになるためだといわれている。このようなケースでは雄であっても2つのX染色体を持つことができるため、雌猫と同様に三色の毛色になる。しかし、こうした染色体異常はきわめて稀にしか起きないため、雄の三毛猫はほとんどいない。

### 回答プロセス

書架から『猫のなるほど不思議学』を見つけ、巻末の参考文献に記載されている資料を調査した。また、蔵書検索システムにて「猫 遺伝」でキーワード検索をしてネコの毛色と遺伝の関係について書かれた本にもあたった。

### 参考資料

- 『猫のなるほど不思議学』 岩崎 るりは／著 講談社 2006年
- 『遺伝子・DNAのすべて』 夏 緑／著 童心社 2020年
- 『エピジェネティクス入門』 佐々木 裕之／著 岩波書店 2005年
- 『ネコの毛並み』 野沢 謙／著 裳華房 1996年
- 『ネコと分子遺伝学』 仁川 純一／著 コロナ社 2013年
- 『人体』 坂井 建雄／監修 KADOKAWA 2022年

## 飢饉の時に食した「松皮餅」の作り方を知りたい。

### 答

飢饉のたびに農民たちは松の皮の他にも、葛・蕨の根・野老<sup>ところろ</sup>などを救荒食として飢えをしのいだという。天保の大飢饉の際に書かれた資料として、現在の山形県最上郡大蔵村の村役人の柿崎弥左衛門が1838（天保9）年に著した『天保年中 巳荒子孫伝』がある。これによると「随分若き松の皮を取、水澤山に入とくと煮候て和かに成たる時取上げ、流水に一夜つけあくの氣をとり候、其後こまかにきざみ臼に入つき和らか成る處計米の粉にまぜてふかし搗なり、山牛蒡餅と同じ小豆にて食す。」とある。

『宮城県史 22 災害』p117には、品井沼干拓に尽力し鹿島台村（現大崎市）の村長を務めた鎌田三之助の祖父、鎌田玄光の口述を三之助の父・三治が筆記し、三之助が1909（明治42）年に刊行した遺著『五風十雨園全集』に記載のある製法が「松皮餅 松の木の皮をはぎとり、粗皮を除いて細かく切り灰水を加え、水を替え、釜で二、三時間煮る。これを水でよく洗い、油気を除き、糠<sup>こめか</sup>を炒ったものと米か麦の粉を混ぜ合せて蒸籠で蒸し、搗いて餅とする。煮た松の皮五升到米または麦の粉一升の割合にする。」と引用されている。

また、現代風の食べ方として『日本の食生活全集 6 聞き書 山形の食事』には、「赤松の中皮を灰汁でゆで、三日ほど水にさらしたものをよく洗い、繊維を切るようにすりこぎで叩き、もち米五升到叩いた皮を2、3ちぎりのせ、一緒に蒸して搗くとできる薄紅色の餅にきな粉をつけたり小豆あんをまぶしたりして食べる」との記載があった。

### 回答プロセス

国立国会図書館デジタルコレクションで「松皮餅」を検索すると『雄勝風土記』という資料がヒット。その本文で引用されていた『天保年中 巳荒子孫伝』を同じく国立国会図書館デジタルコレクションで調べ、『日本近世饑饉史』に全文が収載されていることを確認。

『東北学 Vol.8 <総特集>飢えの記憶』p254にも製法が抜粋されていた。蔵書検索システムで「東北」「飢饉（飢え）」をキーワードに検索してヒットした資料の中から『飢えと食の日本史』を調査。p121 - 124に松皮餅の製法が仙台藩に導入された経緯についての記載があった。

### 参考資料

『宮城県史 22 災害』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年

『東北学 Vol.8 <総特集>飢えの記憶』

赤坂 憲雄／責任編集 東北芸術工科大学東北文化研究センター 2003年

『日本の食生活全集 6 聞き書 山形の食事』 農山漁村文化協会 1988年

『飢えと食の日本史』 菊池 勇夫／著 吉川弘文館 2019年

### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 還暦や米寿の由来を知りたい。

### 答

還暦とは、数え年 61 歳のこと。十干十二支（じっかんじゅうにし）を組み合わせた暦の一巡りの年、生まれた干支に戻ることから「華甲」（かこう）、「本卦返り」（ほんげがえり）ともいう。華甲というのは、華の字が十の字六つと一の字からなっており、甲は甲子（きのえね）の甲で歳の意である。古くは 40 歳から 10 年ごとに年祝いをしたので 60 歳を祝ったが、室町時代の末ごろから 61 歳の還暦を祝う風習が見られるようになった。

最近では男女とも平均寿命が延びたので、還暦の祝いは以前ほど盛大にしなくなった。

米寿とは数え年 88 歳のこと。米（よね）の祝いともいう。米の字を分解すると「八」「十」「八」となることに由来する。

還暦、米寿などの長寿の祝いを総称して<sup>がじう</sup>賀寿、<sup>きんが</sup>算賀などともいうが、一般には年祝いといわれている。

### 回答プロセス

百科事典を中心に調べると、複数の百科事典の中に“通過儀礼”という語句があり、改めて蔵書検索システムで“通過儀礼”と検索したところ関連資料が見つかった。

件名の“年中行事－日本”にも着目して検索すると、還暦や米寿について掲載されている資料が見つかった。また『日本大百科全書』を見ると、還暦、米寿とともに記述があった。

総合辞典・事典のデータベースのジャパンナレッジ Lib でも「還暦」「米寿」で確認した。

### 参考資料

『日本大百科全書 6 かれ - きょう』 小学館 1985 年

『日本大百科全書 20 ふ - へか』 小学館 1988 年

『日本大百科全書 25 索引』 小学館 1989 年

『人生儀礼事典』 倉石 あつ子／編 小松 和彦／編 宮田 登／編 小学館 2000 年

『市田ひろみの日本人でよかった年中行事としきたり』

市田 ひろみ／監修 東京書籍 2007 年

『和のしきたり 日本の暦と年中行事』 新谷 尚紀／監修 日本文芸社 2007 年

### ■オンラインデータベース

「ジャパンナレッジ Lib」

## イギリスの階級、爵位について知りたい。

### 答

イギリスにおける階級制度は、18世紀後半の産業革命を機に生まれたといわれている。階級制度を大きく分類すると、上流階級（王族、地主、貴族など）、中流階級・中産階級（弁護士、医者、大学教授、銀行員、専門職など）、労働者階級（肉体労働者、ブルーカラーの職種）の三つに分けることができる。イギリスの爵位は貴族制度に基づき、「世襲貴族」と「一代貴族」に分けられる。「世襲貴族」には、上から順に「公爵」、「侯爵」、「伯爵」、「子爵」、「男爵」の五つの種類がある。「一代貴族」は、1958年に制定された「一代貴族法」により一代限りで爵位を授けられた貴族であり、爵位はすべて男爵で、世襲はできない。

### 回答プロセス

「階級」「爵位」の概略については『イギリス文化事典』p60 - p67、「一代貴族」については、オンラインデータベースのジャパンナレッジ Lib に詳しい記述があった。また、イギリスの貴族の様子や階級社会について書かれた資料は、ビジュアルが美しい図説のシリーズや、小説の中で描かれたものなど、多種多様なものが出版されている。イギリスの地理（293）や歴史（233）、社会学（361）の棚から何冊か関連資料を選び、紹介した。

### 参考資料

- 『イギリス文化事典』 イギリス文化事典編集委員会／編 丸善出版 2014年
- 『図説イギリスの歴史 増補新版』 指 昭博／著 河出書房新社 2015年
- 『ノブレス・オブリージュ イギリスの上流階級』 新井 潤美／著 白水社 2022年
- 『貴族とは何か ノブレス・オブリージュの光と影』 君塚 直隆／著 新潮社 2023年
- 『華麗なる英国貴族101の謎』 島崎 晋／著 PHP エディターズ・グループ 2014年
- 『階級にとりつかれた人びと 英国ミドル・クラスの生活と意見』  
新井 潤美／著 中央公論新社 2001年

### ■オンラインデータベース

「ジャパンナレッジ Lib」

## 身内の不幸があった翌年の正月を祝わないのはいつからの風習なのか。

### 答

『日本書紀』天武天皇 7 年(678 年)10 月の条に「重服」(父母の喪)の記載あり。喪とは死の穢れに対して、忌み慎んでいる状態で喪には忌と服がある。忌は嚴重な慎みの状態で、服は忌に比べていくらか軽い状態である。養老律令(757 年)喪葬令には、服 1 年の期間が天皇・父母・夫・本主、祖父母・養父母は 5 カ月、曾祖父母・外曾父母・妻・兄弟姉妹・夫の父母・嫡子は 3 カ月、さらに血縁が遠くなるにしたがって、1 カ月、7 日と短期間になっており、これがその後、適用されてきた。江戸時代の 1664 年に定められた服忌令(1693 年改正、1736 年追加あり)によると忌中の慣例は門戸を閉じ(中略)、賀せず、弔せず、音楽をなさず、嫁娶せず、兄弟財を分かたずをもって法とし、父母、祖父母などの服喪期間は 13 カ月、武士と庶民を対象とした。1948 年に神社本庁より、神職服忌心得の通達があり、忌の期間は父母、夫、妻、子は 10 日、祖父母、孫、兄弟姉妹は 5 日など、非常に短期間となり、服はその人の心得に任すとされている。

### 回答プロセス

『日本大百科全書』でキーワード「喪中」から「喪」の項目を見ると「忌服の生活」の記述があり、「忌服」の項目に詳細の記述があった。『民俗小事典死と葬送』p143 に忌中、『仏教葬祭大事典』p320 に忌明け、『三省堂年中行事事典』p369 に仏の正月、『仙台市史 特別編 6 民俗』p398 に忌みと供養の記述があり、参考資料として提供した。

### 参考資料

- 『日本大百科全書 6 かれ - きょう 2 版』 小学館 1994 年
- 『日本大百科全書 22 ませ - もぬ 2 版』 小学館 1994 年
- 『民俗小事典死と葬送』 新谷 尚紀／編 関沢 まゆみ／編 吉川弘文館 2005 年
- 『仏教葬祭大事典』 藤井 正雄／[ほか]共著 雄山閣 1980 年
- 『三省堂年中行事事典』 田中 宣一／編 宮田 登／編 三省堂 1999 年
- 『仙台市史 特別編 6 民俗』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 1998 年

歌川広重に弟子入りし、「白雨<sup>はくう</sup>」という絵を描いた人物について知りたい。また、安藤広重とはどのような関係か。

答

歌川広重と安藤広重は同一人物である。安藤が本名。師の歌川豊広から歌川を受け継いでいる。歌川広重の名はそのまた弟子に襲名され、二代歌川広重から四代歌川広重がいる。

「白雨<sup>はくう</sup>」は初代歌川広重の「東海道五拾三次之内」の一枚である。

#### 回答プロセス

「歌川広重」をキーワードとして蔵書検索を行い、所蔵のあった資料を調査。『歌川広重』p15、『北斎と広重』p44、『もっと知りたい歌川広重』p6、p72、『広重決定版』p6 - p7、p24、p156 - p159 に記載があるのを見つけた。

また、インターネットで検索したところ、「安藤広重はいつから歌川広重になったのかという話。」との太田記念美術館の投稿記事を見つけた。

#### 参考資料

- 『歌川広重』 山下 裕二／監修 ほるぷ出版 2022 年
- 『北斎と広重』 金子 信久／監修 東京美術 2019 年
- 『もっと知りたい歌川広重』 内藤 正人／著 東京美術 2007 年
- 『広重決定版』 太田記念美術館／監修 平凡社 2018 年
- 『日本美術作品レファレンス事典 絵画篇 浮世絵』  
日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 1993 年

#### 参考サイト

太田記念美術館の投稿記事サイト

<https://otakinen-museum.note.jp/n/n5182d517014f> (2023 年 9 月 12 日アクセス)

「ひ、ふ、み、よ…」と数えるのは、祝詞に由来していると聞いた。「と」(十)の続きを知りたい。

## 答

数を数える際に使う「ひ、ふ、み、よ、い、む、な、や、こ、と」とは、四十七音から成る太祝詞の冒頭の十音を代用したもので、基本詞は<sup>ひふみ</sup>日文で伝えられている<sup>てんそん</sup>天孫文化による<sup>ふとのり</sup>太祝詞は、「ヒフミヨイムナヤコトモチロラネシキルユキツワヌソヲタハクメカウオエニサリエテノマスアセエホレケ」の四十七音で構成される。

数え方は「とおあまりひとつ、とおあまりふたつ…」となるため、基本的に「【十以上の数字】あまり【いくつ】」の形式に数を当てはめて数える。「はたまりひと」(二十一)など、一部の語を省略して数えることもできる。

## 回答プロセス

蔵書検索システムで「祝詞」をキーワードに検索してヒットした資料を複数確認するも、「ひ、ふ、み、よ…」で始まる祝詞が掲載されている資料は見つけれなかった。

インターネットで調べてみると「ひ、ふ、み、よ…」との数え方は、神代文字に関係していることがわかったため、改めて蔵書検索システムで神代文字を検索し、関係資料を確認。『図説神代文字入門』のp8に「ヒフミヨイムナヤコトモチロラネシキルユキツワヌソヲタハクメカウオヘニサリエテノマスアセエホレケ」というルビが振られている<sup>ひふみまな</sup>日文真字の文章を見つけた。ただし、それが祝詞であるかは不明。

国立国会図書館デジタルコレクションにて「ヒフミヨ」「祝詞」で検索したところ、日文真字と同じ音で構成された太祝詞の記載があるものが複数の資料で確認できた。

数え方としての「と」(十)の続きは、数え歌や童謡について書かれている音楽関係の資料を複数あたったが、記載のある資料は見つけれなかった。そこで、Google ブックスで「ひふみよ」「歴史」等のキーワードで検索し、ヒットした中で所蔵のある『「数」の日本史』を確認したところ、同書p28に「古代の数詞では十の次は、「とおあまりひとつ」、つまり十プラス一である」という記載があった。また、同書p30に日本古代の数詞として「ひとつ」から「やおよろず」(八百万)までの数え方が表にまとめられていた。(一部中略あり)

## 参考資料

『図説神代文字入門』 原田 実／著 ビイニング・ネット・プレス 2007年

『「数」の日本史』 伊達 宗行／著 日本経済新聞出版社 2007年

## 参考サイト

Google ブックス

<https://books.google.co.jp> (2024年3月1日アクセス)

## ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 一般的な書籍の小口部分に、見出し用として着色してある部分の名称は何か。

### 答

この部分の名称は「小口印刷」である。

小口とは、本の背以外の三方の断面のことで、背の反対側を小口という。上の小口を「天」または「あたま」といい、下の小口を「地」または「けした」という。

明治期前半の書物は、活字印刷されていても製本は和綴じで背は存在せず、小口を正面にして並べられた。背を正面に向けるようになったのは、明治期後半になってからである。

小口を外方に向けておく習慣があったため、小口に汚れや変色を防ぐための加工や装飾が自然に施されるようになった。小口装飾には、金つけ・色染め・色みがき・バラがけ・マーブル・つめかけ・小口印刷などがある。厚い辞書や六法全書・便覧などには、内容の区分を外から検索しやすくするために小口の一部を切り込み、指で開きやすくしていたが、現在は小口印刷したものが主流である。小口面に五十音やアルファベットなどを表示したり、項目ごとに白抜きの墨ベタの見出しをつけたりして目的のページをめぐりやすくしている。

### 回答プロセス

まず、本の装丁や製本に関する資料にあたり、本の構造と部分名称を確認。次に、印刷用語辞典や校正技術、出版印刷用語事典などから小口に関する項目を調べると、小口装飾の一種に小口印刷があることがわかった。さらに『本づくりの匠たち』の中には、本づくりの職人たちの技が写真入りで掲載されていた。小口印刷の原理は凸版印刷とおなじで、大がかりなハンコのようなものであることや、需要は辞書類がメインで、バッド印刷・タコ印刷ともよばれ、紙以外の材質や曲面にも対応できることなどが詳しく紹介されていた。

### 参考資料

『製本加工はやわかり図鑑』 関根 房一／著 日本印刷技術協会出版部 1993年

『デザイナーをめざす人の装丁・ブックデザイン』

熊澤 正人／共著 清原 一隆／共著 エムディエヌコーポレーション 2007年

『装丁、あれこれ』 桂川 潤／著 彩流社 2018年

『出版・印刷・DTP用語事典』

レイアウトデザイン研究会／編 ピアソン・エデュケーション 2001年

『出版技術入門』 藤森 善貢／著 日本印刷新聞社 1965年

『印刷事典 増補版』 日本印刷学会／編 印刷局朝陽会 1987年

『図解印刷技術用語辞典 第2版』 大日本印刷株式会社／編 日刊工業新聞社 1996年

『本づくりの匠たち』 グラフィック社編集部／編 グラフィック社 2011年

## 雪が降った日が静かだといわれる理由を知りたい。

### 答

『雪と建築』の中に「雪の吸音効果」というコラムがあり、そこには「落下中に雪の結晶がからまりあい、雪の粒子として舞い降りるが、この粒子間の隙間にある空気が吸音材の働きをする。音（空気の振動）が積雪面に進入すると、粒子間の空気層が激しく運動し熱を発生させる。つまり、音エネルギーが熱エネルギーに変換されるため、音が小さくなる」と記載されている。『最新気象百科』では、「音と降雪」の項に、「新雪が防音タイルのように音を吸収し、積雪が深くなるにつれ、吸収は増大する」と記載されている。

また、2021年12月2日の河北新報（朝刊）に「降雪で音小さく解明へ」という見出しがあり、山形大学の実験で「雪と音の関係」について「降雪量が大きな影響を与え、音は雪にエネルギーを吸収されて小さくなり、特に高音部分が聞き取りにくくなる」という記事があった。

### 回答プロセス

蔵書検索システムで「積雪」「音」「静か」等のキーワードで検索し、複数の資料にあたるも該当する記述は見つけれなかったが、書架で直接資料を探し、『雪と建築』と『最新気象百科』に一部記載があるのを見つけた。

次に、インターネットで関連キーワードを検索すると、関係する学術論文がいくつかヒット。その情報を参考に国立国会図書館サーチで検索したところ、雑誌記事に該当箇所があることが確認でき、その中で「騒音制御 32(6)」の「積雪地の音環境…雪が降ると静かになる?の解明」が遠隔複写可能なことがわかった。また、国立国会図書館デジタルコレクションを検索すると、「積雪研究 第5号」の「積雪時に於ける音響の衰退について」など、雪と音の関係で参考になりそうな記事が見つかり、館内で閲覧ができる資料があることもわかった。

河北新報データベース検索では、山形大学の実験記事がヒットした。

### 参考資料

『雪と建築』 日本建築学会／編 技報堂出版 2010年

『最新気象百科』 ドナルド・アーレン／著 丸善 2008年

「河北新報」 2021年12月2日付朝刊

### 参考サイト

国立国会図書館サーチ <https://ndlsearch.ndl.go.jp> (2023年12月15日アクセス)

#### ■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

「国立国会図書館デジタルコレクション」

カワウソはどこに住んでいるのか。海に住んでいるカワウソもいるのか知りたい。

答

種類によって、川にも海にも生息している。『総合百科事典ポプラディア 4』p198に「河川や海岸などの水辺にすみ、数頭の群れでくらす。水中を泳いで魚やザリガニなどをとらえて食べる。ほとんどの種が陸でも活動する」との記載があった。また『カワウソ』p54には「ひとくちに水辺といっても、川の上流部に住むものもいれば、湖や湿地、水田にいるもの、さらには海岸にいるものなど、実にさまざまな場所に住むことが知られています。」とある。

生息地域や種類については、『カワウソ』p52に「熱帯から寒帯まで、地球上のさまざまな環境に合わせてそれぞれ進化した動物なので、種類によってだいぶ姿かたちや容貌が違います。」ともある。

回答プロセス

図鑑からカワウソの項目を調べ、動物（480）、ほ乳類（489）の書架から直接資料を探した。また、写真集も所蔵していたため、説明文などを確認したところ、詳しい記載があった。

参考資料

『総合百科事典ポプラディア 4 第3版』ポプラ社 2021年

『カワウソ』佐藤 淳一／写真・文 東京書籍 2010年

『動物 ニューワイド学研の図鑑 3』学研教育出版 2010年

『世界動物大図鑑』

デイヴィッド・バーニー／総編集 日高 敏隆／日本語版総監修 ネコ・パブリッシング  
2004年

「オプトニカ」というかぶれる花について知りたい。黄色い花をつけるらしいが、花の写真が載っている本を見たい。

答

オプトニカではなく、流通名はプリムラ（プリムラ・オブコニカ）、和名はセイヨウサクラソウ、トキワザクラ、シキザキサクラソウというサクラソウ科の一種である。

花の色は橙に近い赤色や、桃色、濃い青色、白色などがある。

かぶれる原因は『人もペットも気をつけたい園芸有毒植物図鑑』p69 プリムラの項に「葉、花茎、萼片<sup>がくへん</sup>などの腺毛の先端にある細胞にプルミンというアレルギーを起こしやすい物質が含まれ、これに触れると接触皮膚炎を引き起こします。」と記載されている。また、プルミンという物質は漆科の植物に並び、かぶれる原因の植物ではトップクラスである。

同書に、プリムラにも何種かある中で「かぶれを引き起こす事例の多くはプリムラ・オブコニカによるものです。（中略）サクラソウ（*P.sieboldii*）ではまれです。」とある。園芸品種では、かぶれないプリムラ（サクラソウ）も流通しているようである。

#### 回答プロセス

オプトニカという名前を図鑑で探したが見つからなかったため、インターネットで検索。プリムラ・オブコニカという植物が出てきたので、改めて図鑑等の資料を探し、利用者に花の写真を確認してもらった。

#### 参考資料

『人もペットも気をつけたい園芸有毒植物図鑑』 土橋 豊／著 淡交社 2015年

『園芸植物 山溪カラー名鑑』 山と溪谷社 1998年

『毒毒植物図鑑』 川原 勝征／写真と文 南方新社 2017年

『原色園芸植物大図鑑』 北隆館 1984年

#### 参考サイト

みんなの趣味の園芸 <https://www.shuminoengei.jp> (2023年5月6日アクセス)

## 東北大学での講演を終えたアルバート・アインシュタインが松島でお月見をした場所がどこか知りたい。

答

松島海岸の小高い場所にあった旅館「白鷗楼」の四阿。  
建物自体はもうないので、おおよその場所を資料等で提示した。

### 回答プロセス

蔵書検索システムで「松島」と「アインシュタイン」に関する資料を検索。ヒットした『新松島ものがたり』『アインシュタインの旅行日記』などを調べたところ、お月見のことは書かれていなかったが、アインシュタインが松島を訪れた日付は1922（大正11）年12月3日であることが確認できた。

次にインターネットで「松島 アインシュタイン」をキーワードに検索すると、跡見学園女子大学の紀要に関連する記述のある論文を発見。引用されていた河北新報の新聞記事から、アインシュタインがお月見したのは「白鷗楼」であることがわかった。

該当の新聞記事を市民図書館所蔵のマикроフィルムで確認。また、『アインシュタインの旅行日記』の参考文献にあった『アインシュタインショック 2』にも白鷗楼の四阿で月下の松島を觀賞したとの記述があった。

白鷗楼については、上記論文とその参考文献にあった『松島町史 通史編 2』p287 記載の地図と『松島への足跡』p26 から在りし日の白鷗楼の所在地がわかった。

後日インターネットで「松島の月 アインシュタイン」で検索すると、河北新報の2022年12月4日付新聞記事「アインシュタイン来日100年」がヒットしたので、データベースを確認したところ、同様の内容が記載されていた。

### 参考資料

- 『アインシュタインショック 2』 金子 務／著 河出書房新社 1981年
- 『アインシュタインの旅行日記』 アルバート・アインシュタイン／著 草思社 2019年
- 『新松島ものがたり』 小川 澄夫／著 国書刊行会 1999年
- 『アインシュタイン講演録』
- 〔アインシュタイン／述〕 石原 純／著 東京図書 1986年
- 『松島町史 通史編 2』 松島町史編纂委員会／編 松島町 1991年
- 『松島への足跡』 瑞巖寺 2006年
- 河北新報マクロフィルム（大正11年12月5日）

### 参考サイト

- （日本三景・松島の観光振興と旅館経営者）小川功／著 （跡見学園女子大学マネジメント学部紀要第9号） 2010年（2023年9月22日アクセス）[跡見学園女子大学機関リポジトリ \(nii.ac.jp\)](https://nii.ac.jp)

- オンラインデータベース  
「河北新報データベース」

## 広瀬川の大橋のところにあるキリシタン殉教の像（仙台キリシタン殉教碑）について知りたい。

### 答

この殉教碑は、キリシタン弾圧により捕らえられ、拷問の末に広瀬川の大橋の下で 1624（元和 10）年 1 月に殉教したカルヴァリヨ神父と信徒の計 9 名を顕彰するため、1971（昭和 46）年 9 月にカトリック元寺小路教会（仙台市青葉区）の信徒が中心となり「仙台キリシタン殉教碑」として西公園内に建立されたものである。中央にポルトガル人宣教師のカルヴァリヨ神父、両脇に武士と農民を配した 3 体のブロンズ像で、制作は仙台教区の深沢守三神父である。2017（平成 29）年～2018（平成 30）年にかけて補修が行われた。

### 回答プロセス

まず江戸時代の仙台（伊達藩）におけるキリシタン弾圧についての資料を探したところ、郷土資料の通史と宗教のところに資料があった。

次に殉教碑の建立についてわかる資料を書架にあたって探したが、建立について示すような文献は見つからなかった。

河北新報データベースで、「キリシタン殉教」「キリシタン殉教碑」のキーワードで検索したところ、作られた経緯や像の制作者のことがわかった。またインターネットによる検索でも殉教碑についての記事を見つけることができた。

### 参考資料

『仙台領キリシタン秘話 迫害と流血の記 衰滅篇』 紫桃 正隆／著 宝文堂 1968 年

『みちのく殉教秘史』 及川 吉四郎／著 本の森 2005 年

『仙台市史 通史 1 本篇』 仙台市史編纂委員会／編纂 万葉堂書店 1974 年

『宮城県史 12 学問.宗教』

宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987 年

『仙台の散策』 宝文堂出版販売 1974 年

『宮城県百科事典』 河北新報社／編集 河北新報社 1982 年

『切支丹時代』 遠藤 周作／著 小学館 1992 年

『「新」目で見ると見る仙台の歴史』

「新」目で見ると見る仙台の歴史編集委員会／編集 宮城県教科書供給所 1989 年

### 参考サイト

AMOR 陽だまりの丘

[https://webmagazin-amor.jp/2018/09/22/tokushu23\\_1/](https://webmagazin-amor.jp/2018/09/22/tokushu23_1/) （2023 年 11 月 23 日アクセス）

### ■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

「仙台」の地名の由来とも言われる韓翊<sup>かんこう</sup>の漢詩が載っている本を探している。

答

韓翊の「同題仙遊観（同じく仙遊観<sup>せんゆうかん</sup>に題す）」という漢詩で、『三体詩 上 新訂中国古典選 第16巻』、『唐詩三百首 2 東洋文庫 265』に載っている。『唐詩三百首 2』については、データベースのジャパンナレッジ Lib でも閲覧することができる。

### 回答プロセス

『漢詩の事典』p104により「韓翊」が中唐の詩人であることが分かった。

レファレンス協同データベースにて「韓翊」で検索したところ、茨城県立図書館の「中国の唐の時代の詩人「韓翊」の詩が載っている本はあるか」、仙台市民図書館の「仙台北城下が築かれたころの地名について書かれたものが見たい。また、「千代」から「仙台」に地名が変わった理由も知りたい。」との事例がヒットした。そこに記載されている参考文献を中心に調べたところ、『仙台事物起原考』p119の「仙臺」の文字は、唐の韓翊の「同題仙遊観」なる七言律詩の「仙台初見五城楼」という起句から採ったものであると推量される。」という記述から、該当の漢詩が韓翊の「同題仙遊観」であることが分かった。茨城県立図書館の事例から、「同題仙遊観」が『三体詩 上』と『唐詩三百首 2』に収録されていることを確認した。

また、河北新報データベースで「仙台 由来」で検索したところ、2022年5月13日に仙台市博物館が「仙台」の名前の由来について述べている記事も見つかった。

### 参考資料

- 『漢詩の事典』 松浦 友久／編 大修館書店 1999年  
『仙台事物起原考』 菊地 勝之助／著 ヨークベニマル 1995年  
『仙台市史 通史1 本篇』 仙台市史編纂委員会／編纂 萬葉堂書店 1974年  
『三体詩 上』 村上 哲見／著 朝日新聞社 1966年  
『唐詩三百首 2』 蘅塘 退士<sup>こうとう たいし</sup>／編 平凡社 1975年

### 参考サイト

レファレンス協同データベース

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000186508](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000186508)

[https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref\\_view&id=1000252199](https://crd.ndl.go.jp/reference/detail?page=ref_view&id=1000252199)

(2023年10月20日アクセス)

### ■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

## 蕃山の伝説について知りたい。

### 答

『宮城県百科事典』p872「ばんざんのでんせつ」の項に、「昔、弘法大師がこの山の姿がレンゲの葉に似ているのを見て、霊場にしようとした。99谷まで開いたが、最後の1谷をテングの群れに邪魔されて果たせず、紀州高野山に去って金剛峯寺を開いたという。のち、瑞巖寺の雲居禪師が、ここに大梅寺を建てようとしたが、やはりテングどもの邪魔に遭った。それをこの山に住む万二・万三郎の兄弟が、禪師のためにテングを追い払った。禪師は兄弟を山の鎮護として祭った。この兄弟は弓矢の名人で、兄の万二は二口峠の磐司に、弟の万三郎は綱木の蕃山に住み、一体の山谷を駆け巡って猟をしていた。また時には山賊を働いていたが、禪師の徳にうたれて弟子となって山賊の足を洗った。蕃山の頂上に雲居禪師の廟、常寂光塔があり、禪師を真ん中に、左右に烏帽子、直垂で弓矢を手にした兄弟の像が祭られてある。」と記載されている。

『せんだいむかしばなし』p28 - p29「マタギの開祖磐二・磐三郎兄弟」と『宮城の民話』p27 - p30「万二万三郎」はどちらも語り口調で書かれている。民話であるためか兄弟が山姫と猿王の子どもであったり、立石寺の慈覚大師の弟子になったりなど、事典とは異なる描写となっている。

上記資料のほかに『日本歴史地名大系 4 宮城県の地名』p318「蕃山」の項には『宮城県百科事典』と同様の記載があり、『宮城県史 20 民俗』p32 - p34「万事万三郎のこと」には仙台周辺の山にまつわる5つの伝説が記載されている。また、絵本の『磐神・磐三郎』、紙芝居の『ばんじばんざぶろう』といった児童向けの資料もある。

### 回答プロセス

レファレンス事例を蓄積した参考資料ファイルの「蕃山・地域」の項目から資料を探した。また、郷土資料コーナーの昔話の資料から一通り内容を確認した。

### 参考資料

『宮城県百科事典』 河北新報社／編集 河北新報社 1982年

『せんだいむかしばなし』 せんだいむかしばなし編集委員会／編 宝文堂 1989年

『日本歴史地名大系 4 宮城県の地名』 平凡社 1987年

『宮城県史 20 民俗』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年

『宮城の民話<新版>』 山田 野理夫／編 未来社 2015年

『磐神・磐三郎』 こたけ たかし／絵と文 東京図書出版 2016年

『ばんじばんざぶろう』

萱場 久仁枝／原作 新しい杜の都作り青葉区協議会／脚本・補作 2002年

宮城県の市制が施行された順番を知りたい。

答

市制施行年月日			市名	
西暦	和暦	月日		
1889年	明治22年	4月01日	仙台市	
1933年	昭和08年	4月01日	石巻市	
1941年	昭和16年	11月23日	塩竈市	
1950年	昭和25年	12月15日	古川市	※2006（平成18）年3月 大崎市に編入
1953年	昭和28年	6月01日	気仙沼市	
1954年	昭和29年	4月01日	白石市	
1958年	昭和33年	10月01日	名取市	
”	”	”	角田市	
1971年	昭和46年	11月01日	多賀城市	
”	”	”	泉市	※1988（昭和63）年3月 仙台市に編入
”	”	”	岩沼市	
2005年	平成17年	4月01日	登米市	
”	”	”	栗原市	
”	”	”	東松島市	
2006年	平成18年	3月31日	大崎市	
2016年	平成28年	10月10日	富谷市	

#### 回答プロセス

郷土資料の『宮城県百科事典』所収の年表により市の変遷を調べたが、古い資料のため1982年以降の情報は掲載されていなかった。『全国市町村要覧 令和02年版』には1965年以降の年表が掲載されていた。これらの資料をあわせて調べることで、現存するすべての市制施行日や合併等の変遷を調べることができた。

#### 参考資料

『宮城県百科事典』 河北新報社／編集 河北新報社 1982年

『全国市町村要覧 令和02年版』 市町村要覧編集委員会／編 第一法規 2020年

## 陸奥国分寺の造営地はどのように選ばれたのか。

### 答

陸奥国分寺は741（天平13）年、聖武天皇が国家鎮護のために発した国分寺建立の詔によって建立された。その詔では、国分寺を造る場所について、造塔の寺は国の華であるから人里から遠すぎず近すぎず人々が集まりやすい所を選ぶことと命じている。

国府と国分寺・国分尼寺は近い場所に造られることが多かったようだが、陸奥国分寺は国府である多賀城から約10kmも離れている。国府から離れた場所に造営した理由としては、多賀城には仙台平野の北端部に多賀城廃寺と呼ばれる付属の寺院跡が南東約1.2kmにすでにあったことが関係しているのではないかと推測されている。

そこで多賀城から離れ、集落が広く展開しており、仙台平野の中央に位置する場所として造営地に適していると選ばれたのが、若林区木ノ下であった。木ノ下地区は南東部に水田地帯が広がる平坦地のため工事の際の手間が少なく、また平野の中央にあるため視界を遮るものがなく、小高い丘陵にあった国府・多賀城からも見渡せるといふ点や、西側を通る<sup>あづま</sup>東街道を多くの人が行き来することから仏教信仰の教化という点も期待されていたと思われる。

### 回答プロセス

まず蔵書検索システムで「陸奥国分寺」「国分寺」などをキーワードに検索してみたが、造営地に関して述べられている資料は少なかった。次に、国立国会図書館デジタルコレクションで「陸奥国分寺」で検索したところ、『刀剣と歴史』595号（日本刀剣保存会）の中の「みちのく古街道紀行（四）陸奥国分寺薬師堂縁起」に造営地として選ばれた理由を考察している部分があった。

さらに『最北の国分寺と蝦夷社会 仙台平野からみた律令国家』p256「陸奥国分寺の立地」という箇所には詳細な記述があったのでこれを回答とした。

### 参考資料

『仙台郷土史の研究』 伊東 信雄／著 宝文堂 1979年

『宮城県百科事典』 河北新報社／編集 河北新報社 1982年

『史跡陸奥国分寺・国分尼寺跡 よみがえる古代の寺院』 仙台市教育委員会 2004年

『国分寺の誕生 古代日本の国家プロジェクト』 須田 勉／著 吉川弘文館 2016年

『陸奥と渡島』 吉村 武彦／編 KADOKAWA 2022年

『最北の国分寺と蝦夷社会 仙台平野からみた律令国家』 斎野 裕彦／著 敬文舎 2023年

### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 泉ヶ岳の雨乞いと水神碑について知りたい。

### 答

『仙台市史 特別編 9 地域誌』によると、泉ヶ岳での雨乞いに関する記録は、「江戸時代には干ばつの際、巖山で雨乞いをすることはしばしば行われ、嘉永6（1853）年7月に泉ヶ岳の頂上で300駄もの薪を焚いて7日間の雨乞い祈禱を行った。明治時代に入ってもしばらくその信仰は変わらなかったようで、登山道の水神コースを登ると目にすることができる水神碑は、明治28（1895）年の干ばつの際、降雨祈願のために建てられたものである。碑は巨大なもので、標高800m付近にそれを造立する当時の信仰心の深さは現在では想像がつかない。大正や昭和の時代に入ってから、泉ヶ岳で雨乞いをした記録がある。大正8（1919）年6月には高砂村・多賀城村の800人が泉ヶ岳に登って雨乞いを行い、昭和元（1926）年7月は、干ばつ続きで他の作付けもできない岩切・利府・多賀城・七北田・根白石の各村から3千余人が雨乞いの祈禱祭を企画している。しかし、こうした雨乞いも昭和8（1933）年6月を最後に記録は見られなくなる。」とあり。また『泉市誌 下巻』には、「碑の高さ2.07メートル、幅最大1.8メートル、厚さ0.6メートルの巨大かつ見事な自然石である。どこからどうして運び上げたのか、あるいは近くにあったのか今になって知る古老もいないし、伝わる話もないのが不思議である。」と記述があった。

### 回答プロセス

泉ヶ岳に関する資料は多数あり、各資料の内容から「雨乞い」と「水神碑」に関する記述を確認した。河北新報のデータベースでは「泉ヶ岳」「水神碑」「信仰」をキーワードにして検索し、水神碑の写真や言い伝えについての記事も確認した。

### 参考資料

- 『仙台市史 特別編9 地域誌』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2014年  
『泉市誌 下巻』 泉市誌編纂委員会／編 佐々久／監修 宮城県泉市 1986年  
『いずみのふるさと-総集編-』 「いずみのふるさと」総集編 編集委員会／企画・編集  
泉区まちづくり推進協議会／発行 2020年  
『泉ヶ岳・船形山』 河北新報出版センター 2021年

### 参考サイト

公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク「MELON」ホームページ

<https://www.melon.or.jp/contents/Section/Water/wg/about/index.html>

（2023年12月12日アクセス）

#### ■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

## 道路神社について知りたい

### 答

『仙台・泉の散歩手帖』 p 75 に古内・上谷刈の地図があり、道路神社のことが記されている。住所は仙台市泉区上谷刈 3 丁目 17 (Google マップより)。また、秀衡街道と道路神社の項 p 89 に由来や現況について次の記述がある。「前略～二ツ谷から古道を北上し、約十分歩いた所に道路神社がある。この神社は言い伝えによると昔、古街道に塚を築くとき測量に用いた縄を祀ったものとのことであるが、道六神又は道陸神ともいわれているから、旅の安全を祈願して道祖神を祀ったものであろう。神社の前は住宅やマンションが建ち並び、神社も新築され境内の石仏八基も一か所に整然とまとめられている～後略」。その他『仙台・泉の散歩手帖』 p 93、『泉区の歴史探し』 p 10 にも、わずかだが記述がある。

### 回答プロセス

蔵書検索システムで“道路神社”と検索するもヒットしなかったので、郷土資料コーナーの書架で（地理・歴史）の泉、上谷刈関係の資料にあたり、上記資料が見つかった。

### 参考資料

- 『仙台・泉の散歩手帖』 木村 孝文／著 宝文堂 1998 年  
『いずみのふるさと 野村・上谷刈』 新しい杜の都づくり泉区協議会 1998 年  
『泉区の歴史探し』 仙台市博物館／編集 仙台市博物館 2016 年

### 参考サイト

いずみ史跡今昔物語―第 8 回 上谷刈めぐり 秀衡街道を歩く  
<http://www.city.sendai.jp/izumi-kuse/izumiku/shokai/profile/izumishiseki/izumishiseki8.html>  
(2023 年 9 月 6 日アクセス)

### Google マップ

<https://www.google.co.jp/maps/@38.3193496,140.8679317,18z?entry=rtu>  
(2023 年 9 月 6 日アクセス)

仙台市史に記載のある、江戸期・仙台の出版人のうち、宮城屋新左衛門が実在していたか知りたい。また、出版物名も知りたい。

答

宮城屋新左衛門は出版関係者として記録があり、仙台市博物館で収蔵している『女大学宝文庫全』を出版している。

#### 回答プロセス

『仙台市史 通史編 5 近世 3』p343、p348 に仙台の本屋の出版関係者として宮城屋新左衛門の記載あり。出版物については『仙台市博物館収蔵資料目 5』p6 により、『女大学宝文庫 全』の書林に「奥州仙台 宮城屋新左衛門」を確認した。

また、国立国会図書館デジタルコレクションで検索すると、『仙台市博物館年報 平成 24 年度(40)』がヒット。年報の現物を確認すると、p47「資料の貸出」の項に、仙台市博物館で平成 24 年度に資料を貸出した記録の中に、「仙台文学館／「北斎漫画展－江戸の出版文化」／『女大学宝文庫 全』等 14 件 20 点」の記載があった。

なお、『仙台市史 通史編 5 近世 3』巻末の参考文献一覧に記載のある『仙台市博物館年報 第 7 号』（宮城県図書館所蔵）にも、p46「江戸時代の出版物一覧」の中に「宮城屋新左衛門 仙台国分町 『女大学宝文庫』合本」の記載があった。

#### 参考資料

- 『仙台市史 通史編 5 近世 3』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2004 年
- 『仙台市博物館年報 第 40 号』 仙台市博物館／編集 仙台市博物館 2013 年
- 『仙台市博物館収蔵資料目録 5』 仙台市博物館／〔編〕 仙台市博物館 1983 年

#### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧できる、『仙臺萩古地誌』の中に「寫本仙臺城」と記載があるが、実存する資料ならば見たい。また、『仙臺萩 古地誌』には、「家康公が御下向の際、御休息ありし」との記載があるが、休憩のみなのか宿泊して滞在したのか知りたい。

答

『伊達家史叢談 卷五』に「仙臺城」の項目があり、提供するも、お探しの資料ではなかった。家康公の休息についても、「天正中家康公大崎一揆征伐ノ時。旅亭ヲ此ニ立玉ヒ憩息アリシ所ナリ」との記述はあったが、それ以外に休憩・宿泊のどちらかが分かる資料は見つけられなかった。

#### 回答プロセス

国立国会図書館デジタルコレクションで『仙臺萩 古地誌』阿刀田 令造／編を閲覧したところ、「仙臺城」の記載が4か所あり。「寫本仙臺城」「仙臺城」をキーワードに国立国会図書館デジタルコレクションや国書データベースを検索したが該当なし。「仙臺城」で蔵書検索をすると『伊達家史叢談 卷五』がヒット。『伊達家史叢談』p341 - p416 と同内容だったのでこちらを提供した。

家康公の滞在については、『仙台叢書 第1巻』p265 - p266 残月臺本荒萩卷之一の項にも『仙臺萩』とほぼ同様の記載あり。国会図書館デジタルコレクションで「天正中家康公」を検索すると『仙台叢書 別集第3巻』がヒット。仙臺武鑑の項p334 - p335 に記載があったので提供した。

#### 参考資料

『伊達家史叢談 卷五』 伊達 邦宗／撰（和書）

『伊達家史叢談』 伊達 邦宗／著 今野印刷 2001年

『仙臺郷土研究 限定復刻版 1 戦前編』 仙台郷土研究会 宝文堂 1980年

『仙台叢書 第1巻』 宝文堂出版販売 1971年

『仙台叢書 別集第3巻』 仙台叢書刊行会 1926年

#### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

「国書データベース」

## 高校野球の試合前挨拶はいつから行われたのか。

### 答

1911（明治44）年11月に旧制二高グラウンドで「第1回東北六県中等学校野球大会」を開催。この当時、朝日新聞が野球害悪論を掲載していたため、旧制二高の野球部員であった三鬼隆らが学生野球の健全さをアピールしようと試合前に両チームがホームベースを挟んで挨拶することを考案し、その場で行った。これが高校野球の試合前挨拶のルーツであるとされる。その後、旧制二高は京都で開かれた旧制高校の全国大会に出場し、この大会で同校が試合前挨拶を提案し実現したことによって、甲子園大会にも採用されるなど全国に広まり、アマチュア野球の日本独特のスタイルとして定着した。

### 回答プロセス

「高校野球 試合前あいさつ」をキーワードにオンラインデータベースを調査すると、朝日新聞記事の「野球の試合前挨拶、発祥の地は仙台 旧制二高が提案し全国に」や、河北新報記事の「試合前発祥の場 旧制二高グラウンド跡 野球の聖地・名所150選」などの記事がヒットした。また同様に「旧制二高 試合前あいさつ」でインターネット検索すると「野球伝来150年特設サイト」内に「聖地・名所150選」のページがあり、初めてあいさつを行った場所として「旧制二高グラウンド跡（現：仙台市青葉区片平公園）」が全国の聖地・名所の一つとして掲載されていることがわかった。また、蔵書検索システムで「試合前挨拶」と検索すると『近代仙台研究会報告集』がヒットし、その中の「野球の試合前挨拶の発祥とその礎となった旧制二高「雄大剛健」の校風」に高校野球の試合前挨拶の事について記載があった。そのほか『尚志會全史』p131、『野球事始仙台物語』p36などの資料にも記載されている。

### 参考資料

- 『近代仙台研究会報告集 第4回発表会報告集』 近代仙台研究会 2019年  
『尚志會全史』 高瀬 直智／著 第二高等學校尚志會 1937年  
『野球事始仙台物語』 高野 眞五人／著 無明舎出版 2006年

### 参考サイト

野球伝来150年特設サイト

<https://npb.jp/archives/japanesebaseball150th/sights/detail010.html>

（2023年10月27日アクセス）

### ■オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」

「河北新報データベース」

## 仙台出身の黒川玉<sup>くろかわたま</sup>について、出自など詳しく知りたい。

### 答

黒川玉は、デイリー・テレグラフ編集長で英国人名士のエドウィン・アーノルドと結婚し、イギリスに渡り、日本人初の英国貴族となった人物である。

結婚証明書によると、1869年11月21日仙台で生まれ、父の名はモウキチ(あるいはモキチ)、結婚の立会人には、のちに首相となる加藤高明夫妻の名前があったという。『青年小泉信三の日記』には「夫人の前身は<sup>つまび</sup>審らかではない。紅葉館の女中だと云うものもあるし大工の娘だったのをアーノルドが見染めて連れて来たのだともいう」とあるが、出自について明言している記述を確認することはできなかった。

しかし、二人の結婚は当時の英米メディアに広く紹介され、玉の美貌と知性、ファッションセンスは上流社会で大きな話題となったことや、ロンドンに滞在した夏目漱石や南方熊楠等日本人を援助したことについての記述が多数確認できた。

夫エドウィン・アーノルドの死後は社交界のパーティーに顔を出すことも少なく、自分のことを語ることもなく、1962年ロンドンでひっそりと92歳の生涯を閉じた。

※紅葉館とは、東京都港区芝にあった純和風の会員制高級料亭のこと。鹿鳴館に代わって国際交流の場としての役割を担った。

### 回答プロセス

「黒川玉」「エドウィン・アーノルド」をキーワードにインターネットで検索したところ、「黒川タマ」「レディーアーノルド」「アーノルド未亡人」「エドウィン・アーノルド」「サー・エドウィン・アーノルド」など、様々な表記があり、国立国会図書館デジタルコレクションでそれらをキーワードにして検索し、記述を確認した。また、雑誌『英国生活 ミスター・パートナー』No.374にも黒川玉の生涯について紹介されていたことがわかった。さらに、父である「クロカワ モウキチ/モキチ」を『仙臺人名大辞書』『宮城県姓氏家系大辞典』『仙台城下絵図の研究』などで調査したが記述はなく、紅葉館に関する資料を調査したが、黒川玉、エドウィン・アーノルドに関する記述を確認できなかった。

### 参考資料

『青年小泉信三の日記』 小泉 信三／著 慶応義塾大学出版会 2001年

『英国生活 ミスター・パートナー』No.374

『漱石のロンドン風景』

出口 保夫／編著 アンドリュー・ワット／編著 研究社出版 1985年

「産経新聞」1999年9月20日付朝刊25面

### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 仙台の川内近くにある残飯沼の名前の由来と場所を知りたい。

### 答

戦前、川内にあった仙台第二師団兵営炊事場前で残飯の流れ来る堀を残飯沼と称したのが名前の由来。当時はフィギュアスケート発祥地の五色沼とともにスケートができる沼であった。『宮城県の昭和史 下 近代百年の記録』によると、戦前当時は川内にある扇坂を上がったところであったと記載されている。なお、「仙臺市全図」（大正元年発行）などの地図を参照したが扇坂付近には残飯沼という名前の沼は記載されておらず、戦後発行の『復刻 JTB 仙台市街図昭和 24 年版』にも記載がなかった。

### 回答プロセス

国立国会図書館デジタルコレクションで「残飯沼」を検索すると、該当すると思われる仙台の残飯沼についてと思われる記載が、雑誌「臨床研究 1（1）」、『お玉杓子の頃』、『愉快的な数学教室：プラス・マイナス 50 年 新数学教室』、『三崎の熊さん』、『仙台郷土史夜話』の 5 冊にあった。

これらの資料には、沼の由来やスケートをした思い出などが書かれており、『お玉杓子の頃』では「師団司令部前の五色沼、それから程遠からぬ残飯沼」という記載があったことから、川内付近に残飯沼があったと推測される。また、インターネット検索で「フィギュアスケート発祥の地」、「五色沼」などをキーワードに検索すると『宮城県の昭和史 下 近代百年の記録』がヒット。「飛躍の途にある仙台スポーツ界」という対談の話として、残飯沼が扇坂を上がったところであったと記載されている。

### 参考資料

- 『宮城県の昭和史 下 近代百年の記録』 毎日新聞社 1983 年  
『仙台郷土史夜話』 三原 良吉／著 宝文堂出版販売 1971 年

### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 仙台出身で泉鏡花の弟子であった歯科医寺木定芳について知りたい。

### 答

寺木定芳(1883年～1972年)は本名を甫(はじめ)といい、士族の子として仙台で生まれた。旧制第二中学校在学中に父が死去したため、家督を継いで定芳(ていほう・さだよし)となる。中学を卒業後、東京専門学校(現・早稲田大学)に入学し、そののち小説家であった泉鏡花の門人となる。しかし、鏡花から歯科医の道を勧められ、自らアメリカに渡り大学で歯科を学び、帰国後は東京新橋に歯科診療所を開業した。日本では、いち早く矯正歯科を導入し、その第一人者となって自ら医学雑誌「歯科評論」を発刊した。また、鏡花のことをまとめた『人・泉鏡花』を著した。戦後は、日本で最も長い歴史を持つアマチュアの競技麻雀団体である日本麻雀連盟初代理事長を務めるなど、歯科医以外にも活躍の場を広げた。

### 回答プロセス

朝日新聞クロスサーチで「寺木定芳」を検索したところ、2017年4月5日(夕刊)の「風景をたどってIV 3 蝶か夢か、逗子の恍惚」という記事により、泉鏡花の弟子であったことがわかった。また、インターネットで氏名を検索すると泉鏡花の勧めで歯科医になったことや、雑誌を発刊したこと、日本麻雀連盟を設立したこと、『人・泉鏡花』の著作があることなどがわかった。国立国会図書館デジタルコレクションでは、自らが執筆した医学雑誌以外に『麻雀千夜一夜』などの麻雀本にも名前が載っていることがわかった。さらに、「泉鏡花」でインターネット検索すると『鏡花の家』中の「鏡花をめぐる人々」の項目に寺木定芳の名前があったことがわかったため、同書にあたって定芳の経歴等を調査した。

### 参考資料

『鏡花の家 泉鏡花生誕一五〇年記念』

泉鏡花記念館／監修・編著 泉鏡花研究会／監修・編著 平凡社 2023年

『南は北か 日本麻雀連盟雑史』 手塚 晴雄／著 手塚春雄 1989年

### ■オンラインデータベース

「朝日新聞クロスサーチ」

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 焼き芋屋の売り声は、東北と関東で違いはあるか。

### 答

河北新報 1999 年 12 月 16 日付朝刊に「焼き芋の「ピー」は仙台だけ？」という見出しの記事があり、これによれば仙台の焼き芋屋は「ピー」という蒸気音を鳴らしながら売り、関東では「♪石焼～き芋」と声を出して売り歩くのが普通で「ピー」は皆無であるという。関西や中国地方は「ピー」と売り声の併用が一般的で、東北は「ピー」だけが多いようだ、と記載があった。

同紙 2017 年 3 月 4 日付朝刊の記事には「全国的には拡声器で「石焼～き芋」と流すのが主流でも、宮城は昔から「ピー」。定かではないが仙台発祥との説もある。」と記載があった。また、『ニューニューせんだいノート』p51 には「仙台の焼き芋屋は、ほかの県と違って音だけなんですよ。ピーっという音がすると、焼き芋屋が来たという合図。ほかの県だと、『石焼～き芋～』とか声がつきますけどね。音だけの焼き芋屋っていうのは珍しいみたいですよ」と書いてあった。さらに、宮城県図書館所蔵の『焼きいも事典』p213 に「引き売りの売り声」という項目があり、これによれば、最初は振鈴を“チリンチリン”と鳴らしていたが、東京オリンピック(1964 年)前の東京都のゴミ収集車も同じような鈴を使っておりよくゴミ屋と間違われるので、蒸気で“ピーピー”と鳴る連続音に切り替えた。すると今度は「うるさい」という苦情が多くなり、「いーしやーきいも、いーしやーきいも」と声を出しながら売り歩くようになったという。「東北や関西の繁華などところでは、それをずっと続けているところがある」という記載もあった。国立国会図書館デジタルコレクションでは、首都圏での売り声がいくつか確認できたが、はっきりとしたことはわからなかった。

### 回答プロセス

まず、民俗(380)と農業(627)の棚へ行き、さつまいもの本などを調べたが、売り声についての記載はほとんど見当たらなかった。次に新聞記事データベースを確認。その後、蔵書検索システムで件名を「さつまいも」として検索したところ『焼きいも事典』がヒット。仙台市の図書館には所蔵がなかったため、宮城県図書館所蔵の資料を取り寄せて確認した。また、国立国会図書館デジタルコレクションにもあたり調査した。

### 参考資料

『ニューニューせんだいノート』 せんだいメディアテーク 2013 年

『焼きいも事典』 いも類振興会／編集 いも類振興会 2014 年

『日本民俗大辞典 下』 福田 アジオ／[ほか]編 吉川弘文館 2000 年

### ■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 仙台藩が取り組んでいた薬草栽培について、どんな種類の薬草をどのあたりで栽培していたのかなどを知りたい。

### 答

『宮城県史』や『仙台市史』によると、慶長12(1607)年、伊達政宗は徳川家康より朝鮮人参の栽培を命じられ、領内に朝鮮人参の種子を蒔いたという記録があり、その後の調査によると、仙台でも朝鮮人参が薬品として生産されていたことが判明したとある。

仙台藩内における和薬の生産は、1684(貞享元)年が大きな転換点となったとされ、場所として国分生菓原(国分寺薬師堂北)と宮城郡小泉村で薬種が栽培され、この薬園が仙台藩最初の薬園といわれている。また、文政時代(1800年代)には青葉区花京院付近(元寺小路)に医学校が開設され、付属農園として御薬園があったと記載されていた。

当時の資料(『仙台産和薬作出高留扣』1789年-1802年)によると、薬草の種類は、当帰・川芎・大黃・荊三陵・白芷・土木香・沢瀉などで、仙台北下の村々は薬種の名産地でもあった。特に川芎は大量に生産されていて、仙台産は全国的にも名品だったとされている。

また、若林城跡でも栽培が行われていた(若林御薬園)ようで、河北新報データベースで調べると、2013年10月26日(朝刊)に「若林城跡に堀跡と薬園建物跡発見」という記事があり、若林城跡で城内に水を引き込んだとみられる堀跡と廃城後に造られた薬草を栽培する御薬園内の建物跡が見つかったという記事があった。

### 回答プロセス

『仙台市史』と『宮城県史』の薬草・薬園に関する項目を調べ、郷土資料でも薬学や植物に関する資料を確認した。新聞や国立国会図書館のオンラインデータベースで「若林城、薬草、御薬園」などのキーワードで検索を行った。

### 参考資料

『仙台市史 通史編4 近世2』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2003年

『仙台市史 通史編5 近世3』 仙台市史編さん委員会／編集 仙台市 2004年

『宮城県史 18 医薬・体育』 宮城県／著 宮城県史編纂委員会／編纂 ぎょうせい 1987年

『伊達の国の物語』 菅野 正道／著 プレスアート 2021年

『くすり風土記』 ヒキノ ヒロシ／著 1989年

『宮城県遺跡調査成果発表会 平成25年度』

宮城県考古学会／編 東北大学大学院文学研究科考古学研究室 宮城県考古学会 2013年

### ■オンラインデータベース

「河北新報データベース」

「国立国会図書館デジタルコレクション」

朝倉山椒について調べている。「徳川実紀」に書かれている、慶長18年11月27日に徳川家から政宗に贈られた山椒の種類が知りたい。

答

朝倉山椒の発祥の地は、兵庫県養父市八鹿町朝倉。徳川家康に献上されたという記録が残っており、大名が特別に献上する高級贈答品として珍重されたものであったという。

伊達家の記録によれば、徳川家から政宗に贈られた山椒は壺に入っていたとのこと。慶長末年から寛永年間まで朝倉山椒の刻印入りの壺が作られていたというが、贈られた山椒の種類についてははっきりとしたことはわからなかった。

### 回答プロセス

まず「徳川実紀」を確認するため、『国史大系』にあたると、慶長18年11月27日に、「松平陸奥守政宗へ鮓枝柿山椒をたまふ。」とあった。そこで次に、伊達家の資料から調べることにし、『伊達治家記録』『伊達政宗卿伝記史料』の同日の箇所をあたり、山椒の記載があることを確認。山椒の種類は書いていないものの、それぞれ「山椒一壺」「山椒壺一ツ」とあったことから、『原色陶器大辞典』で山椒壺について調べた。また、Google ブックスで「朝倉山椒」と検索すると、『日本民俗文化大系 13 技術と民俗』がヒットし、朝倉山椒と壺についての詳しい記載を確認。国立国会図書館デジタルコレクションでも山椒壺について調べた。

### 参考資料

- 『国史大系 [第38巻] 徳川実紀』 黒板 勝美／編輯 吉川弘文館 1990年
- 『伊達治家記録 2』 [平 重道／責任編集] 宝文堂出版販売 1973年
- 『伊達政宗卿伝記史料』 藩祖伊達政宗公顕彰会／編纂 文献出版 1978年
- 『原色陶器大辞典』 加藤 唐九郎／編 淡交社 1990年
- 『日本民俗文化大系 13 技術と民俗』 小学館 1995年

### 参考サイト

朝倉山椒（やぶ市観光協会）

<https://www.yabu-kankou.jp/sansyo> (2023年10月20日アクセス)

Google ブックス

<https://books.google.co.jp> (2023年10月20日アクセス)

### ■オンラインデータベース

「国立国会図書館デジタルコレクション」

## 過去の事例集（2010年 Vol.1）目 次

戦前の宮城県図書館の写真について	1
小説に出てきた「仙台大新聞」の発行について	2
アダムとイブが食べたという「禁断の実」とは？	3
清国人が仙台領に漂着したのはいつ？	4
金成善左衛門という人物について	5
宮城県丸森町にある「斎理屋敷」について	6
仙台市青葉区にある「愛子（あやし）」の地名の由来とは？	7
民法900条法定相続の条文が見たい。	8
世界各国の年金の支給額について	9
仙台市の学校給食に牛乳が使われ始めた時期について	10
以前食べた仙台銘菓とは？	11
『伊達治家記録』にある「ヨリミツ」とは？	12
「戦陣訓」の全文を読みたい。	13
「黄爪菜」とはどんな草花か？	14
伊達政宗が食べた料理とは？	15
仙台市が出しているデザイナーへの補助金について	16
丸光デパート（仙台市）のミュージックサイレンについて	17
仙台にはじめて建ったホテルとは？	18
『現行日本法規一道路』にある車両種類の略称について	19
ハンガリーの画家シニェイ＝メルシェ・パールについて	20
童謡「里の秋」の歌詞について	21
野球用語について	22
東北の女相撲について	23
武道「槍術」の宮城県での歴史について	24
武田信玄が引用した言葉について	25
昭憲皇太后の和歌が載っている本は？	26

## 過去の事例集（2012年 Vol.2）目 次

仙台の吉成にある権現森について	1
月の形はなぜ変わるの？	2
時計の見方や時間そのものについてわかる本？	3
高野原の造成前と現在を比べて、その変化を調べたい。	4
記念日や祝日のいわれを知りたい。	5
奥州街道の道中歌について知りたい。	6
宮城師範学校について	7
仙台はなぜ杜の都といわれているのか	8
仙台に上野動物園がやってきたときの新聞記事について	9
近所の街路樹になった実について知りたい。	10
仙台白菜の生みの親、沼倉吉兵衛について	11
「青葉茂れる桜井の～」で始まる歌について	12
勾当台公園にある母子像の製作者を知りたい。	13
伊達政宗がつくった漢詩について	14
日本の平均寿命と健康寿命の最新データについて	15
浪分神社と津波の深い関係？	16
仙台市の宅地造成時の切土、盛土についてわかる資料は？	17
フランスの牡蠣を宮城県産の牡蠣が助けた？	18
仙台市の広瀬川沿いや、近辺の地形と地質について知りたい。	19
レントゲンやラジウム温泉の身体への影響について知りたい。	20
震災に関する資料の紹介	

## 過去の事例集（2014年 Vol.3）目 次

アメリカのオバマ大統領の両親について知りたい。	1
なぜ日本の学校は4月入学なのか。	2
韓国の現在の経済力を知りたい。	3
ウイスキー製造元のニッカという名称がどこからきたのか知りたい。	4
【巳】と【已】と【己】の字について	5
昭和30年代の肺結核の「三者併用の薬」とは何か。	6
「八色姓」にあるという、装束の色と身分や位との関係について	7
いろいろなストレスをランキングした表を見たい。	8
昭和12年に世界一周を成し遂げた「神風号」について	9
できるだけ簡単に扱える非常食にはどんなものがあるのか。	10
お墓の納骨スペース「カロート」とは何語か？	11
「ばんきり」という言葉の意味が知りたい。	12
「森のキツツキ」など手遊びの歌詞が載っている本は？	13
浮世絵で、東京スカイツリーのようなものが描かれているものは？	14
沙羅双樹の木を写真や絵で確認したい。	15
天候と病気の関係について教えられるような本を紹介してほしい。	16
昭和40年頃の平均的な退職金の額は？	17
玄米に含まれる「フィチン酸」について調べたい。	18
常長が外国に行き白石和紙で鼻をかんだ…というエピソードは？	19
カタツムリの飼い方について	20
ペンギンの卵を原寸大の写真で見たい。	21
ノートのまとめ方がわかる本は？	22
秋の七草の種類やいわれなどを知りたい。	23
ビスケットとクッキーの違いはあるの？	24
仙台の冬を彩る「光のページェント」はどんな意味があるのか。	25
仙山線の歴史について知りたい。	26
仙台藩の寺格とはどういうものなのか。	27
佐々木喜善が宿泊した「芭蕉館」はどこにあるか。	28
政宗が砂金村や秋保村で川獺をしていたという記述を探している。	29
郡山合戦の際の郡山城とは？	30
今の若林区大和町は、昔どういう所だったのか？	31
太白区の三神峯公園にある石碑について知りたい。	32
民謡『新さんさ時雨』の譜面が載っている資料を探している。	33
仙台駅東口にあった島崎藤村の文学碑には何と書いてあったのか。	34
仙台市原町にある清水沼について知りたい。	35

# 過去の事例集 (2016年 Vol.4) 目 次

「仙台時間」の定義は？	1
仙台糯（ほしいい）について	2
少林（わかばやし）神社について	3
世界遺産の富岡製糸場と白石の片倉製糸との関係は？	4
仙台藩の馬政史について	5
東北の空襲による被害は？	6
七北田刑場で処刑された人数は？	7
戦時中、仙台の動物園での猛獣の処分について	8
ナマズに似た魚で「ギグバチ」「ギグバド」と呼ばれる魚は？	9
仙台市内で災害と関係のある地名は？	10
若林周辺の「イグネ」について	11
宮城野通りにあるプレートの和歌について	12
一高女（一女高？）の移転の経緯は？	13
「つつじがおか」の地名について	14
太白区太子堂にあったこけし塔について	15
愛子周辺で化石がとれる場所は？	16
七夕の短冊はなぜ5色？	17
伊達政宗が森林保護のために発令した制札とは？	18
水の森の叢塚について知りたい	19
公文書にある鎖と節と分とは？	20
古生物学者になるための参考本は？	21
第二次世界大戦中、マレー戦で自転車部隊がたどった道は？	22
スプーンにうつる自分の顔がさかさまなのはどうして？	23
石川啄木の「ふるさとの山に向かいて…」の山は岩手山？	24
トイレトレーニングの参考になる本は？	25
「つなぐ」の正しい漢字は？	26
「火おこし」をするにあたって	27
平安時代の甘味調味料とは？	28
植物標本の作り方のコツは？	29
「光琳笹」とはどんな笹か	30
老人ホームで作って使える手芸の本は？	31
ロシア民謡の「ぐみの木」は日本のぐみの木と違うのか？	32
妹が生まれるので、きょうだいが出てくる絵本を読んであげたい	33
昔読んだアンデルセンの「ナマリの兵隊」は本当は「スズの兵隊」？	34

# 過去の事例集 (2018年 Vol.5) 目 次

ソメイヨシノ (桜) の開花について	1
「赤い羽根共同募金」で使用している「赤い羽根」は本物の鳥の羽根か?	2
「付箋」はどのようにくっついたり取れたりするの?	3
中世のロンドンで行われていた「熊いじめ」に使われていた犬は?	4
ホップについて詳しく知りたい	5
青菜 (せいさい) の漬け物の作り方は?	6
歌舞伎の外郎売 (ういろうり) について	7
君が代のもととなった歌は?	8
京都のまつりで神輿 (みこし) の上に乗っていたカマキリについて	9
以前、子どもに読み聞かせをした絵本を探してほしい	10

## 郷土に関する質問

八木山にベーブ・ルースが来た時の事が知りたい	11
八木山・向山付近の亜炭坑道について	12
戦時中の父親の行動を知る手がかりとして配属先の部隊を調べたい	13
仙台北城下創設期の地名と「千代」から「仙台」に変わった理由は?	14
仙台市青葉区錦町にある「ライト式近代建築」の建物について	15
登米市出身の「おいじん」がモデルとなっている本は?	16
孫と一緒に、太平洋戦争中の仙台の様子について学びたい	17
仙台市で高齢者の外出手段を調査した本は?	18
「熊野堂の昔話」の名取の老女が読みたい	20
明治天皇の仙台巡幸時のルートは?	21
渡辺綱 (わたなべのつな) の宮城県に関する昔話が読みたい	22
広瀬川や七北田川の始まりから海に至るまでを子どもに説明したい	23
仙台市政88周年の記念に選ばれた樹木88本を知りたい	24

## 過去の事例集 (2020年 Vol.6) 目 次

昭和52年頃、国語の教科書に掲載されていた作品を探したい。	1
国宝『瓢鮎図(ひょうねんず)』とはどんな絵画か	2
書道の手本の和歌について、作者と内容を知りたい。	3
女兒の七五三のきものの種類を調べたい。子ども向けの資料はあるか。	4
「味覚障害には昆布茶が効く」とラジオで聞いたがどうしてか。	5
運転免許の更新時に行われる認知機能検査の内容を知りたい。	6
「年年歳歳花相似 (ねんねんさいさいはなあいにてり)、歳歳年年人不同 (さいさいねんねんひとおなじからず)」の一節が入っている詩を見たい。	7-8
100年ほど前に北海道で起きたヒグマの事件を題材にした小説が読みたい。	9
阿弥陀如来の四十八願について知りたい。	10
洗濯物は外に干すとなぜ早く乾くのか。	11
「目には目を、歯には歯を」という言葉の出典は何か。	12
「子どもの看護休暇」はなぜ年間5日なのか。	13-14
古い公文書に出てきた記号のような文字の意味と読みを知りたい。	15
「おつりガム」について知りたい。	16

### 郷土に関する質問

仙台市のマークと伊達家の家紋について知りたい。	17
山形市の霞城公園にある最上義光公騎馬像について知りたい。	18
地下化する前の仙石線と後の仙石線の様子がわかる地図が見たい。	19
映画「殿、利息でござる」のもとになった話を知りたい。	20
若林区で盛んだったといわれる仙台御筆づくりについて知りたい。	21
遠藤梧逸という歌人について知りたい。	22
小説『長英逃亡』で、著者が訪れた侠客元締鈴木忠吉の菩提寺を知りたい。	23
かつて仙台の南町通にあり戦災後に廃社となった磯良神社 (俗称おかつば様) は南町通のどの辺りにあったのか。	24
小説『夢見る帝国図書館』で、戦時中上野動物園の象を仙台の動物園に疎開させる計画があったと読んだが、その計画についてわかる資料が見たい。	25
芭蕉の辻の角にあった砂糖商の若松屋が描かれている絵を見たい。	26
仙台の「災害用井戸」の状況について知りたい。	27
日本初の公開図書館といわれている青柳文庫や青柳文蔵について知りたい。	28
昭和39年の東京オリンピックの体操メダリストが、オリンピック後仙台で模範演技をした際の新聞記事等が見たい。	29
政宗が朝鮮出兵の際に持ち帰ったとされる梅と藤に関して知りたい。	30

## 過去の事例集（2022年 Vol.7）目 次

1928年（昭和3年）のパリ条約の内容が知りたい。	1
アレクサンダー・フレミング、エルンスト・チェーン、ハワード・フローリーの3人について書いてある本を知りたい。	2
きびそ（生皮芋）糸を購入したが、どんな作品に向いているかを知りたい。	3
サルは色をどこまで認識しているか。	4
スイカのしましまはなんであるの？	5
子どもの頃に読んだものと同じ本をもう一度読みたい。	6
「一隅を照らす」とは誰の言葉か。	7
江戸時代の藩と現在の地図を比較したい。日本地図で藩を一覧できるものはあるか。（対象は小学3年生）	8
「七仏（しちぶつ）通戒傷（つうかいげ）」に出てくる過去七仏の名前を知りたい。	9
「ナミノハナ」という言葉をなぜ「波の花」と表現するのか。	10
夜にセミが鳴く習性について書かれた本はないか。	11
アンペラ（筵(むしろ))の語源が知りたい。	12
水は透明だが、海や川の水の色が青く見えるのはなぜか知りたい。	13
蹲踞(つくばい)作法と手水(ちょうず)鉢(ばち)の種類について知りたい。	14
<b>郷土に関する質問</b>	
現在の太白区中田にあった前田村の範囲（所在地）が分かる地図を見たい。	15
河北新報の書評で紹介されていた本の元本を読みたい。	16
「仙台七崎(ななさき)」の現在の場所がわかるものを見たい。	17
「将監沼」について知りたい。できれば等高線や地図もあるとよい。	18
仙台城に飾っていた門松の絵が見たい。	19
歌人の扇畑(おうぎはた)忠雄(ただお)が作詞した校歌について知りたい。	20
河北新報掲載記事の「オツツ祭り」について知りたい。	21
良覚院丁公園を守るために都市計画道路をずらした経緯を知りたい。	22
東京の神田川沿いにある「センダイボリ(仙台堀)」について。	23
福島の方言かと思われる「はばはば」という言葉の意味について。	24
宮城県内の狼の生息が最後に確認されたのはいつ頃か。	25
仙台藩としては珍しいコースを辿った、安永九年の参勤交代の帰りの経路がわかる記録を探している。	26
「仙台市民歌」について、歌詞や楽譜が見たい。	27
白洲次郎の東北での功績について知りたい。	28
大崎八幡宮のどんと祭と裸参りについて知りたい。	29
宮城野にあった「鈴虫壇」という場所はどのようなものだったのか。	30

## 本の道案内

～図書館レファレンス事例より～

Vol.8

令和6年3月発行

編集／発行 仙台市図書館

〒980-0821 仙台市青葉区春日町 2-1 せんだいメディアテーク内

TEL 022-261-1585 FAX 022-213-3524

この事例集は仙台市図書館ホームページにも掲載しています。

[https://lib-www.smt.city.sendai.jp/page\\_id194/page\\_id197](https://lib-www.smt.city.sendai.jp/page_id194/page_id197)

